

予約不要
参加費無料

はずして。
つくって。
やぶって。
かいて

今回のテーマは
諦めなくていい。
生きていていい。

永国寺はらっぱフェス

2026年

3月21日(土)

13:30~16:00

高知県立大学永国寺キャンパス地域連携棟1階

※駐車場はございません。

公共交通機関又は近隣の有料駐車場をご利用ください。

トークセッション

「記憶障害者である

私のニーズと私の使命」

14:25~15:10

ナーシングケアホームおとく

吉良 正輝 氏

高知県立大学 横井 輝夫名誉教授

ヒューマンライブラリー

「生きている本」と対話してみよう！

セッション1 13:45~14:15

セッション2 15:15~15:45

企画 高知県立大学永国寺はらっぱフェスプロジェクト
お問い合わせ先 088-847-8815(企画調整課)

WEBサイトは
こちら ▶





今回の会場は、
【地域連携棟1階】となります。
お間違えないよう、お気をつけて
お越しください。

◀高知県立高知
丸の内高等学校

精神的な困難を抱えた経験をもつ人たちが「生きている本」となって、
自らの経験を元に、読者（参加者）と対話します。

ヒューマンライブラリー

セッション1 13:45～14:15

セッション2 15:15～15:45

17歳の秋祭り 酒の虜になりました

17歳の秋祭り、初めてお酒の味を知り、抱えていたものが解き放たれたような、自分が解放されたような気持ちになった。そこから徐々にお酒のコントロールができなくなったが、アルコール依存症という自覚をして、アルコールをやめたが、それはほんの始まりで、生きていく障害となるものはアルコールではないことに気がついた。生きていくための回復がここから始まった。

著者 けん

なんじゃこの人生？

幼少期からの母との暮らし。家や学校でサバイブしながら「一人で生きて、一人で死にたい」と考えてきた。知的障害や発達障害の診断を受けて、支援される未来を生きる？「なんじゃこの人生？」と頭に浮かび、生き方のシフトチェンジが始まった。

著者 tomo

たっくんの52年の人生

小学2年生の時に大変なことが。そこから始まる壮絶な人生。誰にも心の内を話せず病気に。精神科に入院、退院後たくさんの仲間が出来、少しずつカミングアウトも。やっと自分らしくなってきた最近の私。そんな私の物語。

著者 たっくん

re bloom

心が壊れても、命だけは置いてこなかった。これは精神疾患と共に生きることを決めた、私だけの人生のstory。

著者 せんす

✨ 永国寺はらっぱフェスとは？ ✨

「永国寺はらっぱフェス」は、高知県立大学永国寺キャンパス地域交流広場（緑の広場：はらっぱ）を中心に、さまざまなイベントを通して「自由な空間で、いろんな人と一緒に”元気の種”を見つけ、たねまきをする」プロジェクトです。気軽に立ち寄りたくなるような週末イベントと、メンタルヘルスに関するミニ講話やヒューマンライブラリー等を同時開催し、さまざまな背景を抱える人たちと共生していく地域のつながりを創出していきたいと考えています。